あちこちに 集える場が あるまち

5年後の城北学区は 誰もが安心して暮らせる こんなまちにしよう! 必要な<mark>情報が</mark> 届くまち

困りごとが 相談できるまち 第2次·城北学区住民福祉活動計画

きらめき城北くらしつラン

~笑顔でつながる ふくしのまち城北~

孤立して

寂しい思いをする人が いないまち

気にかけ、声<mark>かけ、</mark> 見守り合い 助け合えるまち 個人でも 自治会<mark>でも</mark> つながりのあるまち



城北学区の「まちのコーディネーター」 きらめき推進員です!

学区社協、民生委員・児童委員、福祉委員、健康推進員、 学校支援コーディネーター、きらめき応援団、福祉の専門 職などが集まって、城北学区の地域づくりについて話し 合っています。

きらめき推進員は、長浜・宮元・水主町・川下・松原 ニュータウン・グリーンハイツ・グリーンハイツ2・レイ ンボータウン・千原・佐和山西町・石持・東山にいます。 あなたも一緒に、城北のまちを「楽 しく」「面白く」「住みよい」まち にしていきませんか。「一緒に活動 したい!」という方は、きらめき推 進員または千松会館内きらめき推進 会議(電話:0749-23-3806)までご 連絡ください。















『きらめき』は、琵琶湖の湖面が日差しに照らされキラキラ輝く様子を、これからの城北学区の暮らしぶりを思い描いて名づけられました。これからの城北学区での暮らしが、元気で明るく、支え合える地域となり子どもからお年寄りの方まで、みんなが笑顔でキラキラ輝く暮らしを、みんなで実現していきましょう!

《城北学区の状況》人口:5,012人 世帯数:2,216世帯 ^{※令和4年4月現在}

(年少人口 14.3% / 生産年齢人口 59.2% / 高齢人口 26.3%)

策定:きらめき推進会議・城北学区社会福祉協議会

この計画書は / 「赤い羽根共同募金」助成金で作成しています。

第2次·城北学区住民福祉活動計画 (2022年~2026年)

- ◆誰もが気軽に集える交流の場をつくろう
 - ・身近に参加できる居場所づくり (サロン、金亀体操、趣味のサークル、 ラジオ体操、井戸端会議など)
 - ・学区内にある集いの場の発掘と発信 (つながりガイドブックの作成)

◇みんなが活躍できる場をつくろう

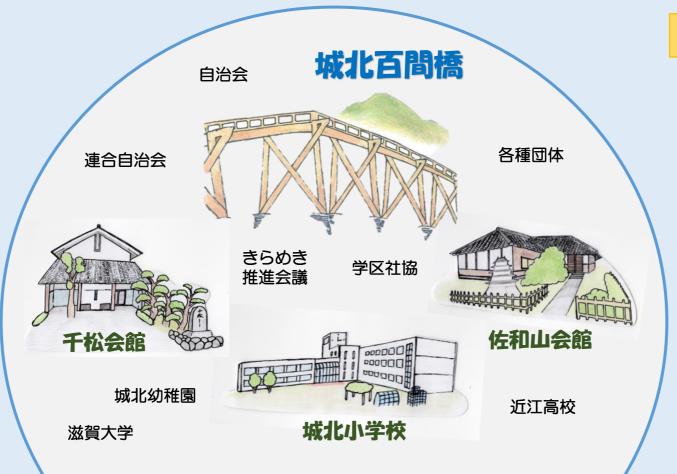
- ・多世代が交流できる居場所づくり
- ・趣味や特技を活かして活躍できる機会づくり (休耕田での野菜づくり、地蔵盆や祭りへの



◇拠点を活用した居場所をつくろうと

・千松会館、佐和山会館を活用した集いの場づくり(地縁によらないつながりづくり)

交流からつなかりへ つなかりから助け合いへ



「人」と「情報」がつながる拠点 しあわせプラットフォーム きらめき

みんなでつくる城北のまち

- *助け合い・支え合いの地域づくり
- *多様なつながりづくり
- *一緒に活動できる人づくり

情報発信

◆ネットを活用した情報発信をしよう

・情報につながれるしくみづくり →きらめきホームページの作成

◇城北学区にある活動を知ろう

- ・学区住民に、必要な情報が届くツール
- ・気軽に相談できるしくみづくり →LINEの活用
- →スマホの使い方講座など

彦根市城北学区

「きらめき」



城北学区きらめきホームページ QRコードをチェック!

防災

♦防災をきっかけにした見守り合いを進めよう

- ・災害時に備えた日頃からのつながりづくり
- →要支援者情報の共有
- →防災マップの作成
- →自主防災会の設置など

◇災害にも強い地域づくりについて考えよう

- ・学び合う場で意識づくり
- →防災講座や体験型の学習会
- →学区の防災訓練など



助け合い

◆助け合い・支え合い活動の輪を広げる

- ・日常のちょっとした困りごとをサポートできるしくみづくり
- →「困っている人」と「お手伝いできる人」を つなぐしくみ
- →利用できるサービス情報の集約と発信

SOSがつながるネットワークをつくろう

- ・地域の中で困りごとや人の変化に気づけるアンテナづくり →見守り会議の開催
- →自治会をこえた協議の場づくり
- ・専門職(ケアマネジャー、地域包括支援センターなど) との連携によるネットワークづくり